第149回　学校体育研究同志会全国研究（冬）大会　ご案内　　　　主催　学校体育研究同志会

子どもの示す事実から読み取る体育実践の成果と課題

—１００人の目でグループ学習実践を対象化する—

　学校体育研究同志会は、「できる子」と「できない子」が一緒に学びながら、みんなで上手くなっていくグループ学習を重視してきました。しかし、若手や会外の教員にとっては、グループ学習の実践報告を聞いたところで、具体的な指導方法や子どもとの関わり方がわからず、グループ学習実践に取り組むうえで障害の一つになってきました。

　このような実態をふまえ今回の冬大会では、学生からベテランまでの100人の参加者全員で、注目されている実践の指導過程を分析しながら、グループ学習実践の成果と課題を共有したいと思います。

* 期日…2014年12月26日（金）〜28日（日）
* 場所　シーパレスリゾート

　　　〒441-8077　愛知県豊橋市神野新田町ミノ割１−３

　　　 ℡ 0532-32-8811

12月26日　18：30〜21：00（受付は17:00から）

【研究局発題】今、なぜグループ学習実践を対象化するするのか（仮）　神谷拓（研究局・宮城教育大学）

【実践報告Ⅰ】小学校における器械運動のグループ学習（仮）石井崇史（東京・都区内小学校）

【実践報告Ⅱ】小学校におけるフラッグフットボールのグループ学習（仮）中川孝子（大阪・大阪市立小学校）

12月27日　※この日は、石井実践と中川実践を分析するグループに分かれて、議論を進めます。

9:00〜12:00 　【実践分析Ⅰ】　小グループに分かれて感想文等の資料の分析と報告

13:00〜15:00　 【実践分析Ⅱ】　実践報告者とのディスカッションと論点整理

15:10〜17:30　 【実践分析Ⅲ】　実践の再構築（グループ学習が成立する条件について議論）

* 19:00〜20:30に、2015「大阪みのお大会」分科会世話人会議を行います。

12月28日　9:00〜12:00

【全体会】　石井実践から見えるグループ学習論の成果と課題（研究局・石田智巳・立命館大学）

 中川実践から見えるグループ学習論の成果と課題（研究局・丸山真司・愛知県立大学）

　　　　　　研究のまとめ　　　　　（研究局・神谷拓・宮城教育大学）

【閉会行事】

* **≪参加費≫**　7000円・1日のみ参加は3000円（学生は半額）
* **≪宿泊費≫**　22000（2泊5食）　全日参加合計29000円　【費用は現地でお支払いください】
* **≪申し込み・お問い合わせ≫**

 神尾佳世（〒214-0034川崎市多摩区三田3-1-2-4-402、メール：kamio33kayo@zmail.plala.or.jp）までに

 以下の情報をご連絡下さい。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 住所 |
| 会員　　　未会員 | 連絡先 |
| 宿泊 | 26日夕食 | 26日泊 | 27日朝食 | 27日昼食 | 27日夕食 | 27日泊 | 28日朝食 |
| ○印 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 参加分科会 | 石井実践 | 中川実践 |

* 学校体育研究同志会のホームページ（http://taiiku-doshikai.org）からも申し込めます。